

Medical Specialist

けやき瓦版【メディカルスペシャリスト】

vol. 4
2011. 秋

けやき瓦版【メディカルスペシャリスト】

2011年 第4号 発行 2011年10月15日 発行 発行所 NPO 法人 良院協議会 〒980-8574 仙台市青葉区南1-1 TEL: 022-717-2817 発行・印刷 株式会社インセント

鈴木 靖士先生

国立病院機構仙台医療センター 神経内科

本人の能力を生かす

国立病院機構 仙台医療センター

Sendai Medical Center



【初期研修】

■ 研修の特色

本院は単独型臨床研修病院の基準を満たしており、2年間の研修は院内で完結できる。地域保健・医療の研修は地域医療連携室を通じて、研修協力施設においても行う。院内の救急外来、救命救急センターあるいは各科外来において、多くの救急疾患の診療ができる。救急車搬入数は年間5,000件を超え、脳神経外科関連疾患を始めとして症例は多岐に渡っている。

総合診療科(内科系、外科系)での研修では、幅広くプライマリケアの基本的な診療能力を習得するとともに、専門科研修への基礎固めとすることが出来る。

基本研修科目、必修科目に加え、放射線診断・病理の研修を必修とする。院内の地域医療研修センターにおいて、数多くの研修に参加することにより、医学知識の習得や人的交流ができる。

■ 研修病院タイプ 単独型

■ マッチング参加の有無 有

詳細はHPへ

<http://www.gonryo.com/guide/miyagi/sendaiyou.pdf>

【学生へひとこと】

当院は全26診療科を有する国立病院機構を代表する基幹病院であり、癌、循環器疾患、成育医療を中心に精神科も含め、全ての疾患を対象として診療を行っており、当院だけで2年間の研修を行うことができる単独型の研修施設です。中でも、救急医療では、救命救急センターを持ち、一次救急から多発外傷を中心とした高次救急まで、急性期から亜急性期の症例を中心に、ほとんどの疾患、病態に総合的に対応することが出来ます。その他にも、災害医療(東北ブロック災害拠点病院、宮城県基幹災害拠点病院)やエイズ(東北ブロック拠点病院)の診療にも力を注いでおります。充実した指導体制のもと、初期研修から後期研修(国立病院機構専修医制度)まで幅広い研修ができます。皆さんのご応募を職員一同心よりお待ちしております。

【地域自慢】

当院は、JR仙台駅から仙石線で2駅(3分)宮城野原駅下車、徒歩1分と交通至便、立地条件にも恵まれた最適な研修環境にあります。また、目の前にはプロ野球東北楽天ゴールデンイーグルスの本拠地があります。

【病院概要】

病院長	菊地 秀
所在地	〒983-8520 宮城県仙台市宮城野区宮城野 2-8-8
TEL	022-293-1111
FAX	022-291-8114
URL	http://www.snh.go.jp/
病床数	698床(一般650床 精神48床)

【病院理念】

わたしたちは、人権と生命の尊厳を限りなく大切にしたい患者中心の医療を目指しております。

【診療科目】

総合診療科	血液内科	腫瘍内科	精神科
神経内科	呼吸器科	消化器科	泌尿科
小児科	新生児科	外科	乳腺外科
整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科
心臓血管外科	小児外科	皮膚科	泌尿器科
産科	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科
気管食道科	リハビリテーション科	放射線科	
麻酔科	歯科	歯科口腔外科	



◀ NPO法人 良院協議会のロゴマークが決まりました！

NPO 法人 良院協議会は、卒業臨床研修の充実を図ることを通じて研修医の指導医の要請と地域医療の発展を支援しています。個人・団体の正会員、賛助会員を募集しております。お気軽に事務局までご連絡ください。

事務局 E-mail secretary@gonryo.med.tohoku.ac.jp

東日本大震災後の臨床研修に関する情報はHPをごらんください。良院協議会HP ▶ <http://www.gonryo.com>



クリネックススタジアム宮城

ご存知、東北楽天ゴールデンイーグルスの本拠地は、医療センターのすぐ隣り。シーズン中は毎日がお祭り。スタジアムグルメも充実。忙しい業務から解放され、リフレッシュできるので医師たちもお気に入りの場所です。



仙台市宮城野区宮城野 3-5-15
TEL 022-257-1848
営業時間 17:00 ~ 23:00
定休日 日曜・祝日

旬味海鮮 二天草

病院からも歩いて行ける仙台医療センター医師が集う定番の店！



仙台市青葉区国分町 3-8-3
新産業ビル1階
TEL 022-712-1447 不定休

ほっ とする 時

鈴木 靖士 先生

国立病院機構仙台医療センター
神経内科の指導医、鈴木靖士先生に聞く、
神経内科医を目指す若い研修医へのメッセージ。

国立病院機構仙台医療センター 神経内科

本人の能力を生かす

明るく楽しくチームの 雰囲気を大切にする



質問 1. 医者としてのモットーは？

チームの雰囲気を大切にする

チームの雰囲気を大切にする

チームを統率し医療にあたるなかで、一番大切なのは雰囲気づくりです。手技を学び経験を積んでいく事はとても重要です。しかし困難な状況を克服していくにはチームとしての力が不可欠であり、そのポテンシャルを発揮するためには、スタッフ全員が前向きに取り組んでいける現場の雰囲気づくりが大切です。

鈴木 靖士 先生 Profile

- 1970 年生まれ 宮城県出身
- 1996 年 金沢大学医学部卒
- 2001 年 東北大学大学院医学系研究科神経内科学卒業
- 2001 年 東北大学医学部附属病院 神経内科医員
- 2003 年 財団法人広南会広南病院 神経内科医師
- 2005 年 いわき市立総合磐城共立病院 神経内科主任医長
- 2006 年 国立病院機構仙台医療センター 神経内科医長
- 2007 年 Department of Neurology, West Los Angeles VA Medical Center 留学
- 2010 年 国立病院機構仙台医療センター 総括診療部総合内科部神経内科科長・医長



チームを盛り立てて、医療にあたりたいける医師になって欲しいと願っています。

豊富な症例

仙台医療センターの研修の特徴は豊富な症例です。ここでは、神経内科の外来患者をすべて研修医にじっくり納得がいくまで診てもらっています。その後、指導医らの診察を行い、双方の結果を踏まえディスカッションを行い、方針を決めていきます。

質問 2. この病院で研修する良さは？

豊富な症例

質問 3. 若手医師指導で大切にしていることは？

本人の能力を生かす

質問 4. 座右の銘は？

明るく楽しく

本人の能力を生かす

仙台医療センターでは研修医の目的や能力に合わせて研修を進めていきます。研修医それぞれに合わせて研修を進めることで、各人の能力を最大限に発揮できるように心がけています。

多くの経験を積む

初心を忘れず、多くの経験を積んで欲しいと考えています。手技はもちろん、認知症、頭痛、意識障害など多様な症例で、様々な年齢層の患者さんが来ます。専門分野こだわらず、一人一人丁寧に診ていき、多くの経験を積むことが初

期研修において最も大切な事だと考えています。

当病院には多くの専門医がおり、科の垣根を超えて、様々なシチュエーションにおいて的確な指導を受けることができます。そのなかで多くの経験を積み、総合的に幅広く成長していくって欲しいと考えています。

明るく楽しく

当病院には常時20〜30人の研修医がおり、同僚からも学ぶことが多くあります。研修医室等では同僚同士で情報交換をしながら、明るく楽しく研修を進めていくことができます。

from 研修医



病院見学先輩の話参考にしてココを選びました！どの科へ行っても熱心で研修医に理解のある指導医がいて、しっかりとした研修が受けられるところがとても良いです。仙台医療センターは30人を超える沢山の研修医がいて、多くの同僚が集まる研修医室は心強く、相談も悩み事も楽しい報告も、気兼ねなく色々な話ができます。多くの仲間と一緒に研修を進めていける環境は、何事にも代え難いと思います。

症例が豊富で、多くの熱心な指導医がいて、三次救急もあり、多くの仲間がいます。そして研修医も新しくとても綺麗で広いし、本当にココでよかったなと思っています。